

KIDS  
photograph

# やん あま えっ っこ



お兄ちゃんのすること  
わたしもやりたーい！

ここな ちゃん  
**西村 心奏**

平成21年4月9日生まれ（菅島町）



カールした髪が  
チャームポイントな僕です。

せな ちゃん  
**湯田 聖七**

平成21年4月7日生まれ（池上町）



アンパンマンが大好きな暴れん坊  
です。

れんと ちゃん  
**野村 蓮斗**

平成21年1月8日生まれ（池上町）



いつも素敵な笑顔をくれて  
ありがとう！

れいじ ちゃん  
**中山 礼路**

平成21年4月17日生まれ（相差町）



毎日、お兄ちゃんと元気に遊んで  
ます！

はると ちゃん  
**安部 遥登**

平成21年4月17日生まれ（松尾町）



愛嬌たっぷりな男前！  
可愛い笑顔でみんなを悩殺☆

はると ちゃん  
**玉置 花彪**

平成21年4月10日生まれ（船津町）

満1歳になる元気なお子  
さんの写真（デジタル画像も  
可）に20文字以内のコメン  
トを添えて、誕生日までに  
広報情報係へお送りくださ  
い。

## 報芸 広文

## 詩

◆渡辺 正也 選

## 時 間

鳥羽三丁目 米倉 雅久

静まりかけた鳥羽湾を見ていた  
まどろんでいた時の中で  
野の果てについて際限もなく考えた  
始まりは何時？  
掌の小さな傷が消えかけ  
青空を見上げた

乗り越えなければならぬ時間が  
理由もなく立ちはだかっている  
残された時間！  
無意識の旅へ橋を架け  
我が来歴をひとりごちる

廃屋に幼児の聲が響き  
やがて家族が行き交う  
手鞠が弾んで鳥羽マリンパークまで  
風が吹き荒れ（漂白の詩人  
伊良子清白の家）に辿り着けない

輪にして繋げた言葉を  
戸に立て掛ける  
夜があげる頃か  
もしくは宝石の時刻に

《評》作者は昭和五十一年に三重県文学新人賞を受賞しています。  
その作者の、生きてきた地、鳥羽に対しての存在を、改めて見詰  
め直しているすぐれた詩です。